

# 社会福祉法人 聖マリア会

## 令和元年度 事業報告書

### 事業の実施状況

介護保険制度は、その創設から 19 年が経ち、サービス利用者は制度創設時の 3 倍を超え、介護サービスの提供事業者数も着実に増加し、介護が必要な高齢者の支えとして定着、発展していますが、団塊の世代全員が 75 歳以上になる 2025 年が迫る中、将来にわたり制度を維持するための財源や人材の確保の問題が深刻化しています。

制度がスタートした当初は、介護人材がこれほど不足するとは想定されてなく、人手不足の背景の一つには介護職の賃金の低さ（全産業を対象としている賃金調査において介護職員の賃金が全産業の平均と比較して低いという調査結果）があります。これまでも介護人材の確保、定着のため介護職員の処遇改善の取り組みが行われてきましたが、さらに定着率の向上を目指し、本年度 10 月に「介護職員等特定処遇改善加算」が創設され、当法人においては経験・技能等を評価し、介護職員等の賃金の改善を行いました。

利用者の処遇については、良質かつ安全なサービスを提供するために衛生的な環境整備、特に感染症対策を徹底していますが、今年に入り新型コロナウイルスが国内外で感染拡大し、収束の見通せない状況を踏まえ感染防止等の対応をより一層徹底して実施しています。

このような中、当法人の令和元年度決算は、各事業の利用率の低さが影響し、会計全体の当期資金収支差額はかろうじて約 190 万円の黒字決算となっていますが、建物設備の修繕として、合併処理浄化槽修繕工事 2,592 千円（内省エネ型浄化槽システム導入推進事業補助金 1,200 千円）、設備整備として特殊浴槽の整備 4,279 千円（内人材確保等支援助成金 1,069 千円）等補助金、助成金を活用し、環境の整備に取り組みました。

また、人材の確保は当法人においても切実な問題となっていますが、人材の育成・定着のため本年度も人材開発支援助成金（432 千円）を活用し、人間力・現場対応力向上研修（1 日 2 時間・12 回・受講者 14 名）を実施しました。

介護現場の経営環境は今後ますます厳しくなると予想されますが、利用者サービスの一層の向上を図るため各事業に取り組んでまいりましたので、その概要を次のとおり報告いたします。

## 1. 法人の概要

1. 法人名 社会福祉法人 聖マリア会
2. 所在地 愛媛県今治市上徳甲110番地1
3. 法人の事業
  - (1) 第一種社会福祉事業
    - (イ) 特別養護老人ホームの経営
    - (ロ) 軽費老人ホームの経営
  - (2) 第二種社会福祉事業
    - (イ) 老人デイサービス事業の経営
    - (ロ) 老人短期入所事業の経営
  - (3) 公益事業
    - (イ) 居宅介護支援事業
    - (ロ) 要介護認定申請にかかる訪問調査の受託

## 2. 役員等の状況

### 1. 構成 (令和2年3月31日現在)

理事	定数	6名以上11名以内	(現員10名)
監事	定数	2名以内	(現員2名)
評議員	定数	7名以上12名以内	(現員11名)

## 3. 令和元年度理事会開催状況

開催年月日 出席人数	議案	
令和元年 6月 3日 理事 10名 監事 1名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会平成30年度事業報告について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会平成30年度決算について 第3号議案 社会福祉法人聖マリア会次期役員候補者の推薦について 第4号議案 社会福祉法人聖マリア会定時評議員会の開催について
	報告	①専決事項報告
令和元年 6月 19日 理事 9名 監事 2名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会理事長の選任について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会評議員選任・解任委員会に提出する次期評議員候補者の推薦について
	報告	①専決事項報告
令和元年 12月 4日 理事 8名 監事 1名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会介護職員等に対する特定処遇改善加算の支給に関する規程の制定について
		第2号議案 社会福祉法人聖マリア会定款施行細則の改正について
		第3号議案 社会福祉法人聖マリア会職員就業規則の一部改正について
		第4号議案 社会福祉法人聖マリア会嘱託職員就業規則の一部改正について
	報告	①専決事項報告

開催年月日 出席人数	議案	
令和2年 3月23日 理事 8名 監事 2名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会令和元年度補正予算について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会令和2年度事業計画について 第3号議案 社会福祉法人聖マリア会令和2年度予算について 第4号議案 指定居宅介護支援事業所みどりの郷の廃止について 第5号議案 社会福祉法人聖マリア会定款変更について 第6号議案 社会福祉法人聖マリア会経理規程の一部改正について 第7号議案 社会福祉法人聖マリア会職員給与規程の一部改正について 第8号議案 理事の欠員に伴う補欠理事の推薦について 第9号議案 社会福祉法人聖マリア会評議員会の開催について
	報告	①専決事項報告

#### 4. 令和元年度評議員会開催状況

開催年月日 出席人数	議案	
令和元年 6月19日 評議員 6名 出席理事 1名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会平成30年度事業報告について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会平成30年度決算について 第3号議案 社会福祉法人聖マリア会役員及び評議員の報酬等に関する規程の改定について 第4号議案 社会福祉法人聖マリア会理事及び監事の選任について

#### 5. 令和元年度評議員選任・解任委員会開催状況

開催年月日 出席人数	議案	
令和元年 12月 3日 監事 1名 外部委員 1名 職員 1名 出席理事 1名	議案	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会新評議員の選任について

#### 6. 特別養護老人ホームみどりの郷

特別養護老人ホームみどりの郷の令和元年度事業計画は以下のとおりで、それに対する実績、達成度を報告する。(詳細な数字は末尾に表示)

1. 令和元年度稼働目標 定員56名に対して、稼働率95%

##### 【実績】

- ・稼働率95%の目標に対して、93.4%と達成できなかった

2. 令和元年度重点項目

利用者の思いに寄り添った健康的な生活の援助を行います。

##### 【実績】

- ・接遇マナーを向上させ、相手を大切に思う気持ちを適切に表現することを全職員の共通目標として実践した

- ・特養部門は共通目標を実践することで入所者の健康を維持することができ、安心した生活に繋げることができた

## 強化

- ① 思いに寄り添った生活の実現

### 【実績】

- ・あいさつに一言を添えてコミュニケーションを行うことによって利用者の細かな精神状況や体調の変化に気づき安定した生活に繋がる援助を行った

- ② 整理整頓された環境整備と安全な衛生管理

### 【実績】

- ・全職員が「環境の乱れは心の乱れ」と考え、入所者のすべての生活空間を常に清潔に保ち、環境整備を習慣化することができた

- ③ 専門性の高い知識と技術で生活援助

### 【実績】

- ・介護職員を中心とした各専門職が専門分野の知識と技術を向上させるとともに、専門職間の情報共有を素早く正確に行うことで、入所者の安全性を高める援助を行った

## 継続

- ① 不適切ケアを改善し虐待を発生させない体制

### 【実績】

- ・委員会や研修を活用して「不適切ケア」を放置しない体制を作り、虐待を発生させない環境を作った
- ・虐待や身体拘束につながる苦情はなかった
- ・今後も家族との信頼関係を損なわないよう、意見交換や情報共有を行っていく

- ② 介護事故の予防及び早期対応と再発の防止

### 【実績】

- ・事故に対して直ちに防犯カメラで事故の検証を行い再発防止に向けた安全対策を行うとともに、正確な状況報告を家族へ行い病院受診や行政報告など早期に対応した
- ・事故による家族からの苦情はなかった

③ 持ち上げない介護の実践

【実績】

- ・利用者を持ち上げない介護を実践し、利用者の褥瘡予防と職員の腰痛対策に繋げ、介護する側・される側ともに負担の少ない援助を行った
- ・現在褥瘡の入所者はいないが、今後も予防と早期対応を継続する

④ 感染対策および食中毒の予防

【実績】

- ・生活環境を常に清潔に保ち、全利用者の手洗いや消毒を徹底した
- ・インフルエンザや嘔吐下痢などの感染症を発生させることなく、利用者の健康を維持することができた

⑤ 楽しみのある食事の提供

【実績】

- ・食事を楽しんでもらうために定期的に郷土料理を提供したり、目で楽しめるようホットプレートを使った「鉄板の日」などを積極的に行った
- ・またパンの訪問販売では自分で選んで購入したり、焼き芋、ホットケーキやアイスクリーム、果物の日など楽しめるおやつを提供にも工夫をした

⑥ 楽しみのある余暇活動の提供

【実績】

- ・花見、吉海バラ祭などの遠足やお茶会、夏祭り、盆踊り、クリスマス会を行い、思い出に残る行事を提供することができた

(1) 定員 56名 令和2年3月31日現在

個室 12、4人部屋 11

(2) 入所者 55名 男性 13名

女性 42名

(3) 入所者年齢

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
男性	1	6	5	1	0	13
女性	1	9	19	11	2	42
計	2	15	24	12	2	55

	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男性	66歳	92歳	79.7歳
女性	67歳	101歳	85.2歳
計	66歳	101歳	83.9歳

(4) 年度別利用状況

年度	日数	延利用日数	1日当人員	利用率	備考
元年	366	19,145	52.31	93.4	
30	365	18,879	51.72	92.3	
29	365	18,709	51.26	91.5	

(5) 入退所状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

- 入所者 11名 入所前居所（自宅3名、老健6名、病院2名）
- 退所者 12名 退所理由（長期入院5名、老健1名、死亡6名）

(6) 現入所者の入所年度

16~18年度	19~21年度	22~24年度	25~27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	計
2名	2名	4名	9名	5名	12名	13名	8名	55名

(7) 現入所者の平均在所日数

- 元年度 1,305日（3年06月）
- 30年度 1,166日（3年01月）
- 29年度 1,152日（3年01月）

(8) 入所者の年間平均介護度

- 元年度 4.31
- 30年度 4.25
- 29年度 4.25

(9) 特例措置による入所状況 なし

(10) 入所待機者 253名（他施設との重複含む）

(11) 入所検討委員会開催

- 年4回（4月、7月、10月、1月）

## 7. 短期入所（ショートステイ）事業

ショートステイみどりの郷の令和元年度事業計画は以下のとおりで、それに対する実績、達成度を報告する。（詳細な数字は末尾に表示）

### 1. 令和元年度稼働目標 定員 13 名に対して、稼働率 50%

#### 【実績】

- ・稼働率 50%の目標に対して、25.7%と達成できなかった
- ・職員の人手不足と特養入所者全体の重度化による介助の必要性の増加により基本的な処遇提供が不安定となり、10月よりショートステイの受入れ制限をせざるを得ない状態であった
- ・常連利用者の特養入所や新規利用受入れが感染症時期と重なるなど、稼働に関して不十分な結果となった

### 2. 令和元年度重点項目

在宅で生活される利用者が、施設の中でも可能な限り自らの生活習慣を変えることなく、尊厳的、自立的な日常生活が送れるよう支援します。

また、ご家族が、必要時、あるいは一時的な休息をとることにより、より良い在宅生活が継続できることを目的とします。

#### 【実績】

- ・契約の際のアセスメント時や担当者会議において、利用者の心身の状況確認と利用者及び家族の思いや意向を聴き、可能な援助を話し合っている
- ・家族に対しては利用時の状況を書面や送迎時及び電話にて報告し、担当ケアマネジャーとも情報を共有している
- ・受入れ体制の問題により柔軟な対応ができず、利用者やその家族の希望に添えない事例が多くあった

### 3. 主な事業

#### ① 思いやりと尊厳のある援助

#### 【実績】

- ・接遇マナーと思いやりのある援助の実践の取組みにより、尊厳のある援助の大切さを学んでおり、徐々に利用者の満足度が向上している
- ・環境整備に力を入れ、清潔で過ごしやすい生活を提供することができた

#### ② 介護事故の予防及び早期対応と再発の防止

#### 【実績】

- ・ベッド周辺環境と身体状況に合わせた安全な動線には十分に気を付けて整備し、常に確認している
- ・予測される事故に関しても利用毎に何度もスタッフ間で申し送りを行う
- ・家族に対しても思わぬ事故が起こりうることを理解していただくために、日頃から情報の共有を行い、信頼関係を築こうと努力している
- ・発生した事故に関しては、上司に相談して迅速な対応を行っている

(1) 定員 13名 (予防型含む)

(2) 年度別利用状況

年度	日数	実利用人員	延利用日数	1日当人員	利用率	備考
元年度	366	194 (0)	1,225 (0)	3.35	25.7	1人当平均利用日数 6.31日
30年度	365	262 (3)	1,470 (9)	4.03	30.9	5.61日
29年度	365	291 (1)	1,576 (2)	4.32	33.2	5.42日

( ) 内は介護予防分を再掲

(3) 利用者の年間平均介護度

元年度 3.29  
30年度 3.31  
29年度 3.34

## 8. 地域密着型通所介護 (デイサービス) 事業

デイサービスセンターみどりの郷 (地域密着型) の令和元年度事業計画は以下のとおりで、それに対しての実績、達成度を報告する。(詳細な数字は末尾に表示)

1. 令和元年度稼働目標 定員 18名に対して、稼働率 70%

### 【実績】

- ・稼働率 70%の目標に対して、54.4%と達成できなかった
- ・他事業所でのみで訪問や連絡を密に取るも、新規利用者獲得が思うほどできなかった

2. 令和元年度重点項目

在宅の要支援者・要介護者に対してその能力に応じて、慣れ親しんだ地域で生き生きと生活できるよう支援します。利用者の社会的孤立感の解消および自立度の向上を目的とした機能訓練やレクリエーション等のサービス提供を行います。心身機能の向上やご家族の身体的および精神的負担の軽減を図り、不安のない生活を送りたいという利用者の願いに応えられるように努めます。地域福祉の充実を図るために地域包括支援センターを中心に、他事業所との連携を強化し、利用者の確保に努めます。

### 【実績】

- ・他事業所への訪問や連絡を取りながら、利用者確保に努めた

3. 主な事業

① 利用者の身体的・精神的特徴を考慮した上での個人の健康状態の把握・対応

### 【実績】

- ・個々の心身状況把握に努め、異常のある場合には本人やその家族、ケアマネジャーなどと連携して対応することができた



- ② 楽しみを持てるレクリエーションや施設外活動の実施による利用者の満足感の向上

【実績】

- ・1から2か月に一度外出レクを行い、機能訓練・気分転換・季節感を味わうことができた
- ・レクリエーションがマンネリにならないように工夫した

- ③ 職員個々の専門性の向上と、職員間の情報の共有

【実績】

- ・月に一度職員会を行い、情報共有や介護面・接遇面などの情報発信することで、職員の意識の向上に努めた

- ④ 室内の清掃をこまめに行うことによる、感染症予防・衛生管理の実施

【実績】

- ・手指消毒や清掃は毎日行うことができ、感染症予防は徹底できた

- ⑤ 常に危機意識を持つことによって、利用者の安全を最優先する介護の実践

【実績】

- ・フロア・一般浴・特浴などデイのハード面を見直し、危険のないようメンテナンスを行うことができた

## 9. 認知症対応型通所介護（デイサービス）事業

デイサービスセンターみどりの郷（認知症対応型）の令和元年度事業計画は以下のとおりで、それに対する実績、達成度を報告する。（詳細な数字は末尾に表示）

1. 令和元年度稼働目標 定員12名に対して、稼働率60%

【実績】

- ・稼働率60%の目標に対し、49.1%と達成できなかった

2. 令和元年度重点項目

認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対し、環境面に配慮し、家庭的な雰囲気の中で、心身の特性を踏まえ、認知症状の緩和や悪化防止を図ります。尊厳のある自立した日常生活を営むことができるようにご本人の意思・希望を把握し、ご本人のペースに合わせて日常生活場面での支援や機能訓練、その他必要な援助を行います。

【実績】

- ・認知症対応型通所介護計画書に沿って、個々のニーズを把握しサービスを提供した
- ・家庭では中々関わりにくい脳のトレーニングや歩行練習など利用者のペースで行い、認知機能や身体機能の維持、向上に繋がる支援を実施した

### 3. 主な事業

#### ① 利用者一人一人の日常生活支援に向けた個別レクの充実

##### 【実績】

- ・タオルたたみなどの生活リハビリや自発的に手指等を動かして脳への刺激を与えるようスーパーボール・トランプ・カルタ等を使用したレクリエーションを提供した

#### ② ご家族や他の介護支援事業者等関係機関との連携強化

##### 【実績】

- ・体調の変化や認知機能、身体機能のレベル低下時には、随時家族やケアマネジャー及びその他関係者と連携を取り、サービスの追加や福祉用具の導入等利用者が日常生活を充実して過ごせるように努めた

#### ③ ご利用者が安心してゆったりと過ごせるような環境づくり

##### 【実績】

- ・利用者同士が共に過ごす事もあり、会話のキャッチボールができるよう職員が間に入ったり、ゲームに取り組みやすいよう補助に入って居心地の良い環境づくりに努めた

#### ④ 施設内における衛生管理の徹底・感染症の予防

##### 【実績】

- ・感染症の発生はなかった
- ・発生予防として職員のうちがい・手洗い・手指消毒を周知・徹底した
- ・新型コロナウイルスの流行に伴い、職員にはマスクの着用や出勤時の検温を行い、利用者には利用前の検温の徹底を呼びかけた
- ・利用中は定期的に窓を開けて換気を行い食後のテーブル消毒を徹底した

#### ⑤ 報連相を徹底し、職員間の情報共有や介護レベルの向上を図る

##### 【実績】

- ・報連相を意識して行い介護レベルの向上を図ったが、不十分なこともあり外部関係者や他部署に迷惑をかけることがあったため、今後さらに報連相の意識を高めていく

(1) 定員	ア. 地域密着型	18名
	イ. 通所型サービス	地域密着型の定員内
	ウ. 認知症対応型	12名

#### (2) 営業日・サービス提供時間

○ 1週間の営業日数	5日(月～金曜日)	
○ 1日のサービス提供時間	ア. 地域密着型	5～6時間
	イ. 認知症対応型	7～8時間

### (3) 年度別利用状況

年度	区分 (日) 開所日数	地域密着型		通所型サービス		認知症型		計		(人) 1日平均	(%) 利用率
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員		
元年度	256	217	2,070	72	437	119	1,508	408	4,015	15.7	52.3
30年度	255	234	2,284	96	588	135	1,353	465	4,225	16.6	55.2
29年度	255	237	2,184	134	839	144	1,242	515	4,265	16.7	55.8

### (4) 利用者の年間平均介護度

区分	地域密着型	認知症対応型
元年度	1.37	3.66
30年度	1.70	3.21
29年度	1.66	3.37

### (5) 配食サービス事業

今治市よりの受託事業 月～金（昼食）

元年度 638食

30年度 708食

29年度 558食

## 10. ケアハウス事業

ケアハウスせせらぎの令和元年度事業計画は以下のとおりで、それに対する実績、達成度を報告する。（詳細な数字は末尾に表示）

#### 1. 令和元年度稼働目標 部屋数26に対して、稼働率80%

##### 【実績】

- ・稼働率80%の目標に対して、部屋数の稼働率は86.5%と目標に達することができた

#### 2. 令和元年度重点項目

入所者の高齢化や要介護者の増加に対し、できる限りケアハウスでの生活が持続できるように、介護保険制度の利用や適切な個別援助を実施致します。また、QOL向上の為、入所間の問題等に迅速に対応し、入所者が居心地良く過ごせる環境の提供に努めます。

##### 【実績】

- ・適時トラブルの相談を聞き仲介に入っていて、大きなトラブルには発展していない

### 3. 主な事業

- ① 入所者の健康状態や認知状態、身体機能状態など、レベルに応じたサービスの提供

#### 【実績】

- ・担当ケアマネジャーへ情報の提供を行い、介護サービスや介護機器等の利用を提案している
- ・認知症状の見られる入所者には必要に応じて服薬管理を行う

- ② 入所者の確保（空き部屋の減少）

#### 【実績】

- ・空き部屋を5部屋から3部屋に減少させることができた
- ・ケアマネジャーへ空き状況の報告を行う

- ③ 入所者が満足できる充実した食事の提供、行事食の提供

#### 【実績】

- ・アンケートを実施して、管理栄養士と相談の上可能な限り希望の食事を提供する
- ・行事食には新たなメニューを追加した

- ④ 地域との関わりの強化（富田総ぐるみこどもまもり隊等）

#### 【実績】

- ・富田小学校での介護教室の参加及びみどりの郷夏祭りを実施した

- ⑤ 接遇の徹底

#### 【実績】

- ・共有部分等の整理整頓と補修の実施
- ・在庫確認による無駄なストックの防止
- ・丁寧な言葉遣い、丁寧な対応を心がけ、利用者との良好な関係を築くことができた

(1) 定員 30名 (1人部屋 22、2人部屋 4)

(2) 入居者 23名 男性 4名 女性 19名  
単身者 23名 夫婦 0名

(3) 現入居者の入居年度

10~12年度	16~18年度	19~21年度	25~27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	計
1名	1名	1名	5名	4名	4名	3名	4名	23名

(4) 入居者の年齢

	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	計
男性	0	1	3	0	4
女性	0	6	7	6	19

	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男性	70歳	89歳	83.3歳
女性	75歳	100歳	86.1歳
計	70歳	100歳	85.6歳

(5) 入退居者の状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

入居者 4名 入居前の居所 （自宅 4名）

退居者 1名 退居理由 （老健 1名）

(6) 現入居者の平均在所日数

元年度 1,727日（4年08月）

30年度 1,602日（4年04月）

29年度 1,474日（4年00月）

(7) 入居者の要介護度状況

未認定者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
2名	4名	4名	9名	4名	—	—	—	23名